**2013 年 3 月 28 日作成(第 3 版)
*2012 年 12 月 12 日作成
届出番号 11B1X00002Z01020

機械器具(01) 手術台及び治療台
一般医療機器 婦人科用診療・処置台 36065000

メグジョイ PAF

【警 告】
使用方法
●本品の動作範囲内に人がいたり機器類があると危険です。動作させる場合は、安全を確認してから操作すること。
[動作範囲内に障害物があると、破損やけがの原因になります。]
●支脚器の開脚動作を行う際には、患者の状態に充分に注意して、過度の開脚を避けるようにすること。
[けがの原因になる恐れがあります。]

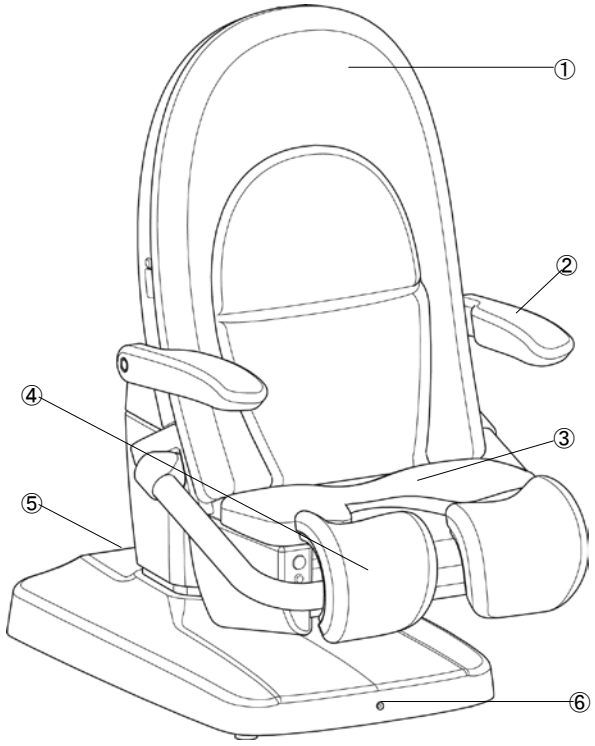
【禁忌・禁止】
併用医療機器
●高周波を発生する機器を、本品の周辺で使用しないこと。
[医用電気メスや携帯電話等の高周波を発生する機器を、本品の作動中に周辺で使用すると、電波障害による誤作動の原因になります。]

【形状・構造および原理等】

本品は本体の型式の違いにより、2 タイプ(固定タイプ、回転タイプ)があります。

●各部の名称

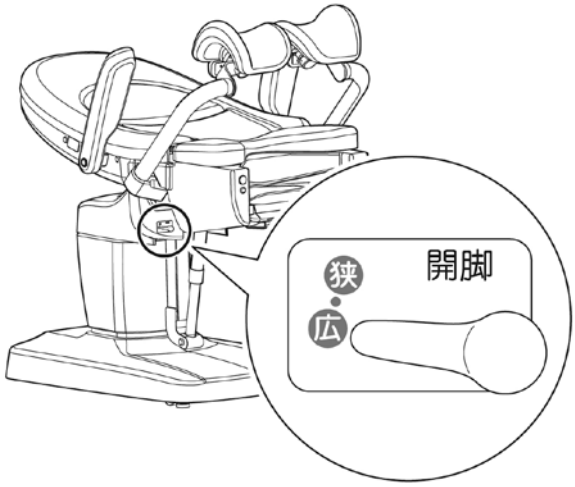
(1)本体(代表例)



固定タイプ

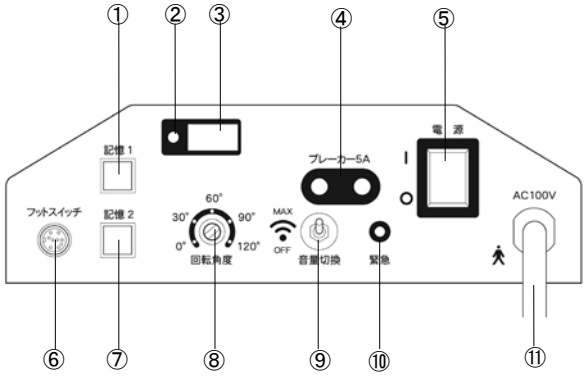
番号	名 称	番号	名 称
①	背板	④	支脚器
②	肘受	⑤	電源パネル
③	座部	⑥	フットスイッチ受光部

(2)開脚調整レバー(3 段階)



※支脚器の最大開脚角度をあらかじめ 15°、20°、25° の 3 段階いずれかに設定できる調整レバーです。

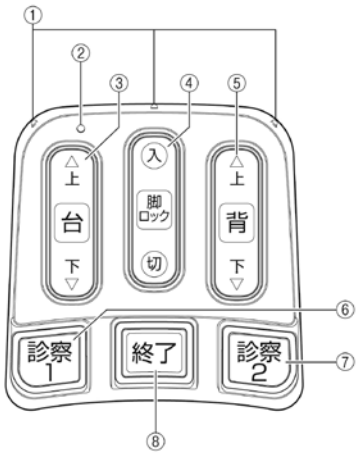
(3)電源パネル



番号	名 称	番号	名 称
①	記憶1スイッチ	⑦	記憶2スイッチ
②	警報表示	⑧	回転角度調節ボリューム
③	リモコンシステムコード表示/エラー表示	⑨	音量切換スイッチ
④	ブレーカー(5A)	⑩	緊急下降スイッチ
⑤	電源スイッチ	⑪	電源コード
⑥	フットスイッチコネクター		

取扱説明書を必ずご参照ください

⑷フットスイッチ



番号	名　称	番号	名　称
①	送光部	⑤	背上昇/下降スイッチ
②	信号出力ランプ	⑥	診察1開始スイッチ
③	台上昇/下降スイッチ	⑦	診察2開始スイッチ
④	支脚器ロック入/切スイッチ	⑧	診察終了スイッチ

●寸法

回転タイプ:**幅 76 (転倒防止板+10) **奥行 129 *高さ 131cm
固定タイプ:**幅 76 **奥行 129 *高さ 131cm

●重量

回転タイプ:約 142kg (転倒防止板を含む)
固定タイプ:約 121kg

●電気的定格

定　格　電　圧:AC100 V±10%
周　波　数:50/60 Hz 共用
消　費　電　力:350 VA
デューティーサイクル:最大連続駆動時間 6 分
停止時間 60 分以上
電撃に対する保護の形式:クラスⅠ機器
電撃に対する保護の程度:B 形装着部

●安全機能

・作動中、フットスイッチのいずれかを踏むと停止する。
・作動中、汚水ロートの収納機構が妨げられると、アラームが鳴り作動が停止する。

●原理

本品は電動で動作し、台の昇降、背板の傾斜および機種により検診台の回転ができる。また、手動により汚水ロートの出し入れおよび支脚器の自然開閉ができる。

【使用目的、効能または効果】

本品は、婦人科領域の診察および処置時に、女性の体位を適切な位置に支持するために用いる調節可能な診療・処置台である。

【品目仕様等】

⑴ **診察高さ:70～105 cm±2 cm(診察体位における座部マットレス上面までの高さ。背板の傾斜角度によって高さの範囲が異なります。)
⑵ **台昇降ストローク:20cm
⑶ 可動角度
*背板傾斜:-10°～20°(±5°)
支脚器開閉:0°～25°(±5°)
乗降回転:0°～120°(±5°)

【操作方法または使用方法等】

1. 診察体位の設定

⑴ 電源スイッチを ON にします。
⑵ 「診察 1 スイッチ」または「診察 2 スイッチ」を踏んで、あらかじめ記憶させた体位まで作動させます。
⑶ 希望する診察体位になるまで、フットスイッチで台の昇降、背板の傾斜の微調動作を行います。
⑷ 本体ベース後面の電源パネルにある「記憶 1 スイッチ」または「記憶 2 スイッチ」を押し、設定した診察体位を記憶させます。
⑸ フットスイッチの「診察終了スイッチ」を踏み、患者の乗降位置まで自動動作させます。

2 診察等

⑴ 本品が患者の乗降位置になっていることを確認し、患者を腰掛けさせます。
⑵ フットスイッチの「診察 1 開始スイッチ」または「診察 2 開始スイッチ」を踏み、記憶させた診察体位まで自動動作させ、診察等を行います。
⑶ 支脚器の開閉および汚水ロートの出し入れを手動で調整し、必要に応じて「脚ロック入スイッチ」を踏み支脚器を固定して診察等を行います。
⑷ 診察等の終了後、フットスイッチの「診察終了スイッチ」を踏み、患者の乗降位置まで自動動作させ、本品が確実に停止したことを確認してから患者を立ち上がらせます。

3 清拭・消毒

●清拭
・清拭前に電源プラグを電源コンセントから外します。
・工具を用いての分解はしないでください。
・石鹸水等を少量含ませた柔らかい布を使い清拭します。
・研磨剤を含む洗剤や洗浄液を使用しないでください。
・清拭後は、湿気を柔らかい布などで拭いてください。
・清拭中は本品を駆動させないでください。

●消毒
・消毒液の一例として、下記の水溶液を使用することを推奨します。
塩化ベンザルコニウム水溶液(オスバン等)
塩化ベンゼトニウム水溶液(ハイアミン等)
クロルヘキシジン水溶液(ヒビテン等)
・消毒液は必ず希釈し、原液のままでは使用しないでください。
・塩素系の消毒液を使用しないでください。
・アルコールを含む消毒液を使用しないでください。
・消毒用スプレーは使用しないでください。

【使用上の注意】

●本品を設置する際は、ベーススットパーを回して確実に固定すること。また、転倒防止板(回転タイプの場合)を確実に固定すること。
[転倒や移動などにより、けがや破損の原因になります。]
●本品の動作電圧範囲(AC100V±10%、50/60Hz)以外では使用しないこと。
●電源コンセントは本品の近くで、電源コードに人が触れない位置を選び、機器 1 台ごとに専用のコンセントを用いること。
また、電源コードは、正しくアースされた 3 芯接地型コンセントだけに接続し、アースを確実にとること。
●絶対に延長コードを使用しないこと。
●本品が正常に動作しないときは、すぐに使用を中止すること。
[過熱して火災や感電の原因になります。]
●台を作動をさせるときは、作動範囲内の安全を充分に確認してから操作すること。
●自動動作を停止させるときは、フットスイッチのいずれかを踏むこと。
●肘受の使用時には、肘受のストッパーが確実にロックされていることを確認すること。
[けがの原因になります。]

取扱説明書を必ずご参照ください

●汚水ロートに乗ったり、足をかけないこと。
［汚水ロートの破損や、けがの原因になります。］
●分解や改造をしないこと。
［火災や感電、けがの原因になります。］

【貯蔵・保管方法および有効期間等】

1. 保管条件

周囲温度 ： －20～45℃
相対湿度 ： 10～95％（結露なきこと）
気　　圧 ： 70～106 kPa

2. 耐用期間

本品の耐用期間は 6 年間です。［自己認証データによる］

【保守・点検に係る事項】

本品を安全に、より長い間ご使用いただくために、取扱説明書の第 6 章の記載に従って、保守点検を実施してください。保守点検には「使用前の点検」、「3ヶ月毎の点検」があります。また、定期的に交換が必要な部品があります。

【製造販売業者および製造業者の氏名または名称および住所等】

■製造販売業者

アトムメディカル株式会社
〒338-0835 埼玉県さいたま市桜区道場 2-2-1
TEL:048-853-3661(大代表) FAX:048-853-0304(代表)

■製造業者

アトムメディカル株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-15
TEL:03-3815-2311（大代表） FAX:03-3812-3144（代表）